

# 三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	① JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分 ② JR 青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅 77 系統)に乗りし、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約 5 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅東口」からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	八王子市郷土資料館	① JR「八王子駅」南口から徒歩 15 分 ② JR「八王子駅」南口 7 番乗り場からバス「東京家政学院」または「法政大学」行き「上野町三丁目」下車徒歩 3 分
8	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院經由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
9	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
10	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
11	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
12	立川市歴史民俗資料館	① JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車、徒歩 20 分
13	日野市郷土資料館	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ② モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
14	首都大学東京 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	① 多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ② 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」「高幡不動駅」「多摩センター駅」より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	① 西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ② 西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分
20	たましん歴史・美術館	JR 中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立博物館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」より町田バスセンター 11 番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
24	町田市民文学館ことばらんど	小田急線町田駅東口から徒歩 12 分、JR 町田駅ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き 6 分、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
27	江戸東京たてもの園	① JR 武蔵小金井駅北口バス 2 番 3 番停留所よりバス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線花小金井駅南口より徒歩 5 分「南花小金井」(小金井街道沿い) 停留所より「武蔵小金井駅」行バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
28	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
29	清瀬市郷土博物館	① 西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ② 西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
30	多摩六都科学館	① 西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」「田無駅」より はなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
31	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
32	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① 中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ② 武蔵境駅からタクシーで 10 分
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩 12 分 ② 武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口より徒歩 2 分
35	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	① 小田急線「狛江駅」「和泉多摩川駅」より徒歩 10 分 ② 小田急線「狛江駅」北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

※たましん御岳美術館は、2019年9月末日に閉館しました。2020年春に竣工予定のたましん新本店・本部棟(立川市)に開設される新美術館に機能移転する予定です。

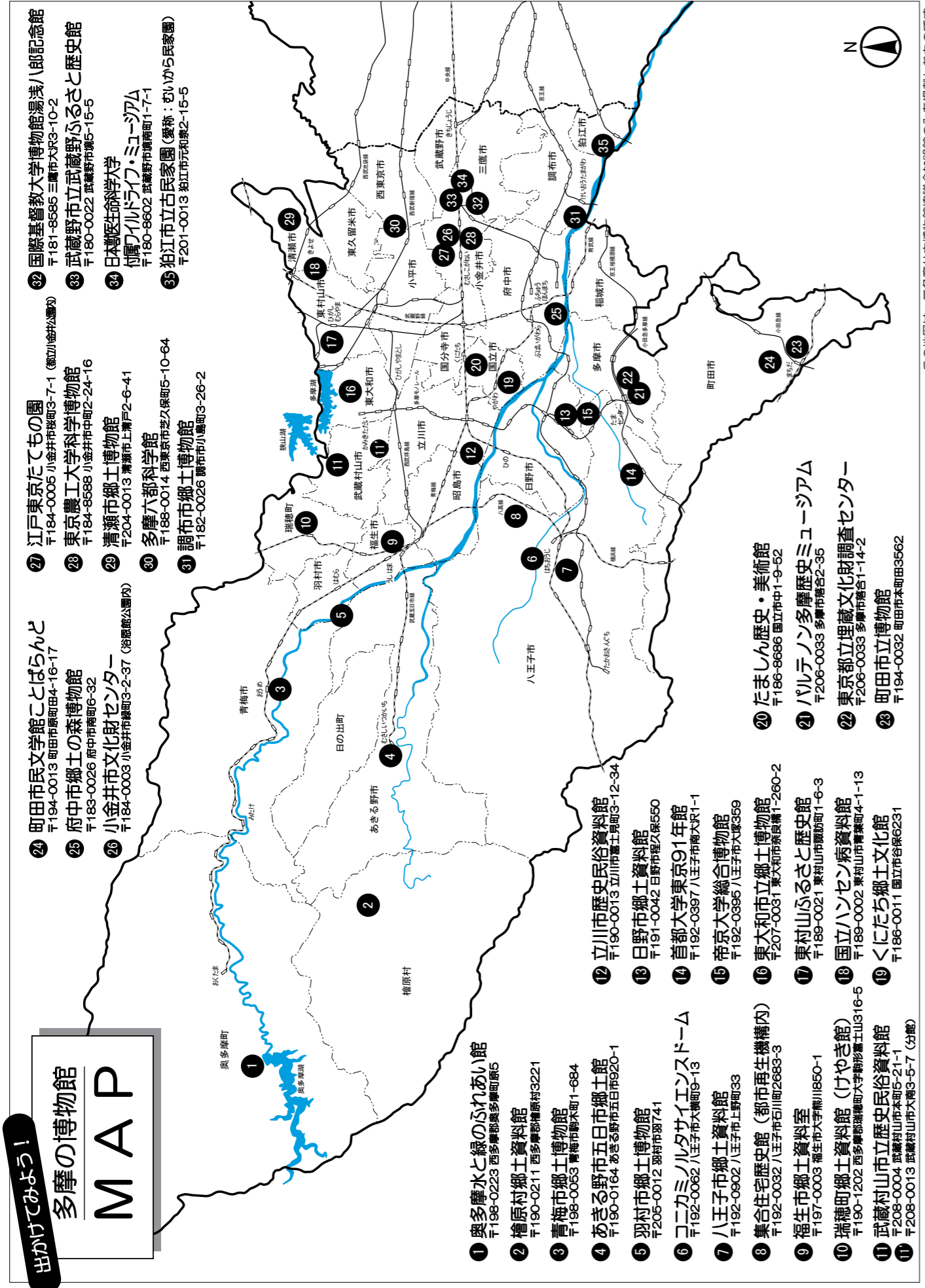
催し物案内2019年度秋・冬号

2019年10月～2020年3月

# 多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。  
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。  
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

**31 調布市郷土博物館** 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	-----------------------------------	-----	----	---	--------------

●企画展「調布の平成－30年の潮流－」(1.9.21-12.15) 調布市の変化をまとめた年表と市街地開発・文化・スポーツ等に関する資料から、平成年間の調布を振り返ります。  
●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(2.1.7-5.10) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。

【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

**32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館**  
初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00～17:00(土曜日は16:30まで)	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・展示準備期間(特別展開催期間外)・夏期休暇中および年末年始	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	--------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

●特別展「夜具一夜のしつらい」(9.10～11.8) 大胆な文様が染め抜かれた夜具地や夜着のほか、夜を過ごすための灯火具など、寝所のさまざまな調度をご覧ください。  
●公開講座「歌舞伎はく夜をどう描いたか」(10.26) 矢内賢二氏(本学上級准教授)を講師に迎え、歌舞伎における夜の表現を多角的に解説していただき、人々にとって日没後がどのような時間だったのかを探ります。  
●特別展「ICUに眠るコレクション探訪」(1.7～3.13) 本学図書館「オスマー館」新設に貢献したオスマー夫妻。ふたりが集めた日本の美術工芸品を展示いたします。

【URL】 [http://subsites.icu.ac.jp/yuasa\\_museum/](http://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/)

**33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館**  
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

●特集展示「武蔵野の年中行事」(9.15～11.14) 市域の伝承文化の一つである年中行事を、映像記録とともに紹介します。  
●企画展「アメリカが見た中島飛行機 米国国立公文書館資料の翻訳を通して」(10.12～12.28) 米国国立公文書館から収集した資料を使用し、中島飛行機武蔵製作所に関する展示を開催します。  
●特集展示「武蔵野の文化財(仮)」(12.1～2.6) 明治3(1870)年の御門訴事件から150周年にちなんで展示を開催します。  
●企画展「古老が語る武蔵野のくらしⅡ(仮)」(1.18.～4.23.) 市域のくらしのうつりかわり、そしてくらしに用いた様々な道具のうつりかわりを当館所蔵資料や明治・大正期の古老たちの語りとともに展示します。  
●特集展示「武蔵野の民俗②(仮)」(2.16～4.18) 市域に住む人々のくらしについての展示を開催します。

【URL】 [http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi\\_guide/shogaigakushu\\_koza/rekishikan/](http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/)

**34 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム**  
本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。

開館時間	火～金曜日 10:00～16:00/ 土曜日 11:00～17:00	休館日	日・月曜・祝日 年末年始・大学の定める休日 (その他臨時休館あり)	入館料	無料	☎	0422-31-4151
------	------------------------------------	-----	---	-----	----	---	--------------

●特別開館 10.6(日)・13(日)、11.1(金)・2(土)・3(日)  
●企画展「日獣大の野生動物研究最前線」(～2020.4.30(予定))  
●企画展「麻布区役所と日獣大～110年間の歩み～(仮題)」(11.1～2020.4.30(予定))  
※特別開館日以外の日程での見学をご希望の場合、事前のご予約が必要です。  
見学申し込み先：日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 電話(0422-31-4151)もしくはメール(museum@nvlu.ac.jp)にて、[①代表者氏名②代表者の連絡先(電話番号、E-mail)③見学者数④見学希望日時⑤学芸員による解説の希望(あり・なし)]をお伝えください。回答にお時間をいただく場合がございます。  
※展示内容、特別開館、臨時休館等の詳細情報は大学公式サイト内博物館ページをご覧ください

【URL】 <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>

**35 狛江市立古民家園(愛称：むいから民家園)**  
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--------------------------------------	-----	----	---	--------------

●年中行事展示 10月には十三夜の月見飾り、正月にはまゆ玉飾り、3月にはひな人形の展示を予定しています。  
●教室・講座 生け花等の伝統文化の体験教室のほか、柿渋染め等の体験教室を予定しています。教室・講座の詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>



<b>26</b>	<b>小金井市文化財センター</b>	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(10月)、年末年始(12.29～1.3)	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「小金井の石造物」(11.1～12.25) 道しるべに関する石造物資料を紹介します</li> <li>●小金井市史刊行記念講演会(11.2) トークセッション形式で『小金井市史』の概要や読み所等をお話しします。</li> <li>●文化財講演会『「はけ」の住環境―旧中村研一郎と佐藤秀三―』(11.17) 旧中村邸の建築的特徴と建築家佐藤秀三について解説します。</li> <li>●史跡めぐり(11.23) ●古文書講座(1～3月)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html">https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</a></p>						

<b>27</b>	<b>江戸東京たてもの園</b>	江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。				
開園時間	4～9月:9:30～17:30 10～3月:9:30～16:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日) ※2020.3.23・30は臨時開園 年末年始(12.23～1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示室「小出邸と堀口捨己-1920年代の創作活動、その造形と色彩-」(10.16～2020.2.16) 「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」(仮称)(2020.3.3～9.27)</li> <li>●秋冬の催し「夜間特別開園 紅葉とたてもの園のライトアップ」(11.22・23・24) 「正月臨時開園 江戸の正月を楽しもう」(2020.1.2・3) 「正月の昔あそび」(1.11・12) 「成人の日はたてもの園へ」(1.13) 「たてもの園フェスティバル」(3.22～28) 「綱島家年中行事」十三夜飾り(10.8～14予定)、大根干し(12月上旬予定)、小正月繻玉飾り(2020.1.15～29予定)、節分(2.2予定)</li> <li>●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日)、伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="https://www.tatemonoen.jp/">https://www.tatemonoen.jp/</a></p>						

<b>28</b>	<b>東京農工大学科学博物館</b>	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料	☎ 042-388-7163
<p>イベント等はHPをご確認ください</p> <p>【URL】 <a href="http://www.tuat.ac.jp/~museum/">http://www.tuat.ac.jp/~museum/</a></p>						

<b>29</b>	<b>清瀬市郷土博物館</b>	清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展・特別展 友の会主催「平成の記憶写真展」(10.5～20) 「柳瀬川縄文ロマン展」(11.2～24) 「清瀬美術家展」(11.30～12.8) 「きよせ郷土カルタ展」(2.15～3.1) 「はたおり伝承の会作品展」(3.7～15)</li> <li>●事業 クリスマスコンサート(12.22) きよせ郷土カルタ大会(2.29)</li> <li>●年中行事 もちつき(12.15) 小正月のまゆ玉飾り(1.11) 節分の豆まきとやっかがし(2.2)</li> <li>●先人の知恵に学ぶシリーズ さつまだんご作り(10.6) しめ縄作り講習会(12.8) 親子で郷土料理づくり(3.22)</li> <li>●講座 市内文化財探訪(11.2) 歴史講座(1.18・25、2.15・22) 自然野鳥観察会(2.8) 企画展・テーマ展示開催記念講演(3.14)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.kiyose.lg.jp/">http://www.city.kiyose.lg.jp/</a></p>						

<b>30</b>	<b>多摩六都科学館</b>	世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.29～1.3)、その他機器整備の休館あり(10.8～10.1.28～30)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎ 042-469-6100
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「つむぐ展 ～生きものから生まれる糸と布～」(10.12～11.4) いつも着ている衣服はどのようにできているのかな? 生きものからとれた繊維が、糸になり布になるまでを体験しながらたどってみましょう!</li> <li>●全編生解説プラネタリウム「中国星座 ～キトラ古墳・高松塚古墳に残された星座たち～」(10.1～12.1)</li> <li>●大型映像「アマゾン・アドベンチャー ～蝶が伝える進化のひみつ～」(好評上映中～12.1)</li> <li>●大型映像「秘密結社鷹の爪 ジュラジュラジュラシクトラベル」(10.1～ 土・日・祝のみ ※終了日未定)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="https://www.tamarokuto.or.jp">https://www.tamarokuto.or.jp</a></p>						

<b>1</b>	<b>奥多摩水と緑のふれあい館</b>	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.4 11.14は開館	入館料	無料	☎ 0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業なども展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●都民の日記念行事(10.1) 10:00～、16:00～ 水道施設に関するビデオ上映 ●ヘブンアーティスト公演(10.12) ①12:00～②4:00～東京都指定ヘブンアーティストによるパフォーマンス ●秋の奥多摩ミニコンサート(11.9・10) ①11:30～②13:30～都民交響楽団有志の方による演奏会 ●羊毛の手紡ぎ実演と体験(12.7・8) 10:00～16:00 毛から毛糸を紡ぐ(ホームスパン)の実演と体験 ●伝統の白箸づくり(2.8・9)10:00～16:00 原地域で盛んに行われていた祝箸「白箸」づくりの実演と体験 ●川野の車人形公演(3月上旬) ①11:30～②13:30～小河内の郷土芸能「川野の車人形」の公演【URL】 <a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></li> </ul>						

<b>2</b>	<b>檜原村郷土資料館</b>	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料	☎ 042-598-0880
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。</li> <li>●特別展「檜原村のお祭り写真展」(～10.14) 檜原村で行われているお祭り・郷土芸能の写真約50点を展示します。</li> <li>●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.9～3.8) 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</a></p>						

<b>3</b>	<b>青梅市郷土博物館</b>	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)12.29～1.3	入館料	無料	☎ 0428-23-6859
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「青梅の織物～糸が紡ぐ今と昔～」(10.5～1.13) 青梅編から青梅夜具地、現在までの青梅織物の歴史について、文献資料や道具などを展示し、紹介します。</li> <li>●新収蔵品展2019(1.25～3.31) 平成30年度の寄贈資料を展示します。【URL】 <a href="http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html">http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</a></li> </ul>						

<b>4</b>	<b>あきる野市五日市郷土館</b>	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日(水曜日が祝日の場合は翌日も)、年末年始	入館料	無料	☎ 042-596-4069
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。また、敷地内にある旧市倉家住宅では、年中行事(正月の破魔矢・羽子板、3月のひな人形)の展示を行います。【URL】 <a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</a></li> </ul>						

<b>5</b>	<b>羽村市郷土博物館</b>	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00,12月まで一時閉館)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-558-2561
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「おさいほうを習う～きものひな形～」(～12.22) ●自然観察会「身近なクモのちょっと知らない世界」(10.27 ※要申込・会場 羽村市郷土博物館周辺) ●歴史講座「歴史散歩～水の文化財を見てまわる～」(11.1 ※要申込・市内めぐり) ●歴史講座「玉川上水管理に関わる幕府の組織体制」(11.30 ※要申込・会場 羽村市産業福祉センター2階iホール) ●季節かざり「お正月かざり」(1.4～1.13) ●体験学習会「まゆ玉かざりをつくろう!」(1.5 ※要申込・会場 羽村市郷土博物館) ●企画展「むかしのくらし」(1.7～1.26) ●季節かざり「まゆ玉かざり」(1.7～1.13) ●企画展「ひな人形展」(2.8～3.8) ●多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト シンポジウム(2.2, 会場 羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール)【URL】 <a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></li> </ul>						

<b>6</b>	<b>コニカミノルタサイエンスドーム(八王子市こども科学館)</b>	プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00(ただし火・金曜9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳～中学生100円(プラネタリウム料金別)	☎ 042-624-3311
<p>29年7月に展示をリニューアル。1階は未就学児もお楽しみいただける「遊びカガク」コーナー。2階は国際宇宙ステーションの1/10模型と「シミュレーター ISSのミッションに挑戦」、「小惑星探査機はやぶさシミュレーター」、200年前に落下した八王子隕石や230万年前のハチオウジゾウについて展示。新展示物・4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」を設置。 ●プラネタリウムでは一般向け番組は「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」(12.14まで)、「ドラえもん-宇宙ふしぎ大探検2」(12.28まで)、「オーロラ-生命の輝き」11.19～2.16)を投影。月に一度、土曜日の夜18時から投影するトワイライトプラネタリウム、10月～12月は「いきものがたり-いきものはみんな星からできている」。第四日曜日の午後3時50分からは解説員による「全編生解説プラネタリウム」も好評。10月～12月のテーマは「星雲星団めぐり(秋冬編)」。アンドロメダ銀河をはじめ、星雲星団を紹介します。 ●土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」などを開催。【URL】 <a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</a></p>						

<b>7</b>	<b>八王子市郷土資料館</b> 八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎	042-622-8939
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「八王子の織物」(2.15～3.22) 八王子の主力産業であった織物について、さまざまな資料から紹介します。</li> <li>●企画展「未来への贈り物」(～3.31) 平成30年度に寄贈された資料を展示します。</li> <li>●企画展「八王子と鉄道」(～10.14)</li> <li>●企画展「北条氏の進出と八王子」(10.29～12.15) ※展示解説 11.3、11.30 両日とも 14:00～申込不要</li> <li>●企画展「七福神 八王子の恵比寿・大黒」(1.4～1.19)</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html</a></p>							

<b>8</b>	<b>集合住宅歴史館</b> (独立行政法人 都市再生機構) 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。						
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制	☎	042-644-3751
<ul style="list-style-type: none"> <li>●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。</li> <li>●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など</li> <li>●見学方法 事前予約制のため予め電話で申込みください。 【URL】<a href="http://www.ur-net.go.jp/rd/">http://www.ur-net.go.jp/rd/</a></li> </ul>							

<b>9</b>	<b>福生市郷土資料室</b> 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。						
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始	入館料	無料	☎	042-530-1120
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展示「松下紀久雄むかし絵展」(9.14～11.24) 松下紀久雄氏の作品から、福生をはじめ多摩地域の風俗や史跡などの往時の姿をノスタルジックなタッチで描いたむかし絵、約50点の作品を展示いたします。郷愁あふれる、むかし絵の世界をお楽しみください。 企画展示関連事業「展示解説会」(10.6) 午後2時より担当職員による展示解説をおこないます。</li> <li>●企画展示「正月の飾り物」(11.30～1.26) 新しい年を祝う大正月に飾る「ミキノクチ」や、小正月に豊作を願う「モノツクリ」、「繭玉飾り」など、福生と西多摩の正月飾りを紹介します。 企画展示関連事業「ミキノクチ製作体験会」(1.11) ミキノクチ製作者をお招きし、製作工程の見学や製作体験を行います。</li> <li>●特別展示「むかしの道具」(2.1～4.12) 道具のあり方と生活の移り変わりに焦点をあて、道具が担ってきた役割とその変化を紹介します。 特別展示関連事業①「むかしの遊びをしよう」(2.15) お手玉やめんこなどのむかしの遊びを体験してみましよう。②「むかしの道具を使ってみよう」(2.22) 枡や手回し計算機などのむかしの道具を使ってみましょう。①②いずれも午前10時から午後3時(正午から午後1時を除く) 【URL】<a href="http://www.museum.fussa.tokyo.jp">http://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></li> </ul>							

<b>10</b>	<b>瑞穂町郷土資料館(けやき館)</b> 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始(12.29～1.3)、臨時休館日	入館料	無料(企画展は有料になることがあります)	☎	042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「瑞穂の山車建築」(10.22～12.8) 瑞穂の各地域で受け継がれる山車の歴史と彫刻などの造形美について紹介します。</li> <li>●特別展「GO! GO! NIAGARA 大瀧詠一の世界2020」(12～1(予定)) 瑞穂町を拠点に音楽を発信し続けた大瀧詠一氏。新たな角度よりその魅力を紹介します。</li> <li>●企画展「けやき館企画展 ひなまつり展2020」(2～3(予定)) 当館に隣接する耕心館の雛祭りの開催に合わせて、展示を行います。 【URL】<a href="http://mizuhokyodo.jp">http://mizuhokyodo.jp</a></li> </ul>							

<b>11</b>	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館</b> 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。分館 武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日(祝日の場合は翌日)、12.28～1.3 分館：月・火曜日(祝日の場合は翌日)、12.28～1.3	入館料	無料	☎	本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展 丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～</li> <li>●特別展「村山の重松囃子」(11.2～1.19) 地域が誇る伝統文化のひとつとして守り伝えられてきた「重松囃子」を紹介します。</li> <li>●企画展「栄村に行こう!!!!」(11.2～1.19) 「まつり」をテーマに姉妹都市である長野県栄村を紹介します。</li> <li>●ミニ展示「狭山丘陵の自然(仮)」(3.14～5.31) ●文化財見学会「萩赤重松囃子」(11.23) ●星空観望会(12.7)</li> </ul> <p>分館 ●常設展 戦時中(アジア・太平洋戦争)の武蔵村山 【URL】<a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</a></p>							

<b>22</b>	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター</b> 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営						
開館時間	9:30～17:00 11～2月遺跡庭園のみ16:30まで	休館日	12.29～1.3(年末年始) 3.12～3.20(展示替え)	入館料	無料	☎	042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> <li>●考古学講座(11.9・11.16) 連続講座</li> <li>●都史跡No.57(遺跡庭園)を解説する(12.8)</li> <li>●映像上映会「オオカミの護符」(1.18)</li> <li>●多摩市教育委員会共催文化財講演会(2.5・2.12・2.22)</li> <li>●来年度企画展示オープン解説会(3.20 午前)</li> <li>●遺跡発掘調査発表会(3.20 午後)</li> </ul> <p>【URL】<a href="https://www.tef.or.jp/maibun/">https://www.tef.or.jp/maibun/</a></p>							

<b>23</b>	<b>町田市立博物館</b> 展示事業終了						
開館時間	事務室営業時間 9:00～16:30	休館日	土日祝日および年末年始	入館料	展示事業終了	☎	042-726-1531
<p>2019年6月16日をもって、町田市立博物館での展覧会は終了しました。今後は市内各所出張展示などを実施します。下記催し物については町田市立博物館までお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニ展示「町田市立博物館ガラスセレクション 鼻煙壺」展(11.6～11.17) @町田市民ホール 博物館コレクションの中から、中国・清時代に作られたガラスの鼻煙壺約30点を展示します。</li> <li>●「江戸切子の世界」展(1.15～1.26) @町田市立国際版画美術館市民展示室 2017年度に寄贈を受けた、現代の江戸切子作家の故・須田富雄(1924-2013)と堀口徹(1976-)らの作品約30点を展示し、現代に受け継がれる江戸切子の魅力をご紹介します。</li> <li>●「江戸切子の道具」展(2.25～3.6) @町田市役所1階イベントスタジオ 2010年度に寄贈を受けた、現代の江戸切子の工具約10点とカットサンプルを展示し、江戸切子の制作工程を紹介します。</li> <li>●民俗資料展示室特別公開(2.8) @町田市立小中一貫ゆくのき学園内民俗資料展示室 市内の小学校の空き教室を利用した民俗資料展示室を、学校公開日にあわせて特別公開します。 【URL】<a href="http://www.city.machida.tokyo.jp/">http://www.city.machida.tokyo.jp/</a> 【Twitter】<a href="https://twitter.com/machida_museum">https://twitter.com/machida_museum</a></li> </ul>							

<b>24</b>	<b>町田市民文学館ことばらんど</b> 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介						
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)	入館料	秋の企画展のみ有料 一般400円	☎	042-739-3420
<ul style="list-style-type: none"> <li>●秋の企画展「白洲正子のライフスタイル—暮らしの遊(すさ)び」展(10.19～12.22) 町田ゆかりの随筆家・白洲正子のライフスタイルに注目した展覧会。町田市の自宅「武相荘」で愛用した骨董、調度品やきものなど彼女の審美眼に合った品々を、暮らし・おしゃれ・たしなみ・ライフワークといったテーマに分けてご紹介します。また、夫・次郎の足跡を振りかえるとともに正子からみた次郎の素顔にも迫ります。※関連イベントも開催します。詳しくは当館HPをご覧ください。</li> <li>●冬の企画展「三島由紀夫展—「肉体」というsecond language」(2020.1.18～3.22) 近年再び注目されており、2020年に没後50年を迎える三島由紀夫の文学の魅力をご紹介します。 【URL】<a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html</a> 【Twitter】<a href="https://twitter.com/machida_kotoba">https://twitter.com/machida_kotoba</a></li> </ul>							

<b>25</b>	<b>府中市郷土の森博物館</b> 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.29～1.3)、臨時休館	入館料	大人300円、4歳～中学生150円	☎	042-368-7921
<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラネタリウム特別投映「クリスマス 星空ジャズフルート・コンサート」(12.22)</li> <li>●企画展「中世東国と改元」(～10.27) 中世の人びとにとって、改元・年号はどのようなものだったか!?</li> <li>●ミニ展「1964東京オリンピックと府中」(10.5～2020.9.6) 聖火リレーのトーチや市内の写真等、1964年の東京オリンピックと当時の府中にまつわる資料を紹介します。</li> <li>●武蔵府中鉄道模型博2019(11/2～17) 府中のジオラマ(Nゲージ)やプラレールなどを展示します。</li> <li>●企画展「ちょっとむかしのくらし その4」(11.9～2020.3.15) 府中で使われていたちょっとむかしの道具を紹介し、暮らしの移り変わりを探ります。</li> <li>●特別展「ご臨終～江戸時代の死・病・あの世～」(1.25～3.8) 江戸時代の人びと「死」に対する意識を、府中に残る史料から紹介します。先人の「死」を知り、現代の「生」を考えてみませんか?</li> <li>●梅まつり(2.1～3.8) ピンクや赤や白の美しい花、やさしい香りに園内が包まれます。 【URL】<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a> 【Twitter】<a href="https://twitter.com/kyodo_no_mori">https://twitter.com/kyodo_no_mori</a></li> </ul>							

<b>12</b>	<b>立川市歴史民俗資料館</b>	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<p>●企画展「立川てんしゃば物語～立川駅と立川の近代化～」(10.22～12.15) 立川駅の開設から今年で130周年。立川の発展を支えた駅の歴史をさまざまな資料から紐解きます。</p> <p>●東京文化財ウィーク 2019 関連事業「銅鉦鼓」特別公開 (10.29～11.24) 中世の立河原合戦を実証する貴重な資料を公開します。</p> <p>●写真展「立川の風景と人のいとなみ」(12.10～2.16) 市内各所で撮影した自然や、人々の暮らしの風景写真を展示します。あわせて、今年度保存修理を終えた阿豆佐味天神社本殿の、伝統的な社寺建築の美を写真で展示します。</p> <p>●企画展「昔の道具（仮）」(1.16～2.16) 人々がむかし使用していた民具や道具を展示します。</p> <p>●ミニ企画展「桃の節句」(2.4～3.8) 市民のみなさまから寄贈されたひな人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</a></p>						

<b>13</b>	<b>日野市郷土資料館</b>	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<p>●企画展 どつき土器展2019「大昔の多摩平」(7.13～11.10) 多摩平再開発の中で発掘された山王上遺跡などを中心に紹介します。</p> <p>●第11回藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日イベント (10.6) 【会場：高幡不動尊】講演会「異なる時間の体系から勝五郎の再生を再考する」講師：松村恒氏</p> <p>●特別展「豊田のむかし」(10.5～12.8) 【会場：新選組のふるさと歴史館】豊田村旧名主家の文禄3年(1594)の検地帳や絵図、ガラス乾板写真など、新たに見つかった資料を中心に江戸時代から明治・大正時代にかけての豊田の姿を探ります。</p> <p>●企画展 ひの宝モノ語り展 ～くらしの工夫に光をあてる～ (11.16～4.12) 資料の一つ一つにみられるさまざまな工夫に光をあて、その裏にあるモノ語りを展示します。</p> <p>※詳細についてはホームページをご参照ください。 【URL】 <a href="https://hino-museum.jp">https://hino-museum.jp</a></p>						

<b>14</b>	<b>首都大学東京 91 年館</b>	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎ 042-677-1111 内線 2041
<p>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧ください。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。</p> <p>●大学祭期間特別公開 (11.3～5) 首都大学東京南大沢キャンパス大学祭「みやこ祭」にあわせて展示室を公開します。</p> <p>●その他の企画 ウェブサイト等でお知らせいたします。 【URL】 <a href="http://tmu-gakugei.jp/index.html">http://tmu-gakugei.jp/index.html</a></p>						

<b>15</b>	<b>帝京大学総合博物館</b>	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料	☎ 042-678-3675
<p>●企画展「古代多摩に生きたエミシの謎を追え」(10.15～1.14) 帝京大学八王子キャンパス内の遺跡から古代東北地方に住んでいたエミシが、東北から遠く離れた多摩地域に移住し生活していた痕跡が発見されました。エミシたちはなぜ移住したのか、そして何をしていたのでしょうか。関係資料を通してその謎を解き明かします。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/">http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/</a></p>						

<b>16</b>	<b>東大和市立郷土博物館</b>	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。メガスターが映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)	☎ 042-567-4800
<p>●プラネタリウム秋番組 (9.14～12.1) / プラネタリウム冬番組 (12.7～2020.3.1) / プラネタリウム春番組 (2020.3.7～)</p> <p>●特別投影「クリスマス投影」(12.21・22) ●中高生のプラネタリウム発表会 (12.27)</p> <p>●企画展示「吉岡堅二展—日本画 de あいうえお—」(9.21～10.27) ●企画展示「ひなまつり」(2020.2.15～3.8)</p> <p>●企画展示「たのしい植物観察」(2020.3.20～) ●ロビー展示「大和村100年」(10.19～11.17)</p> <p>●旧吉岡家住宅 秋の公開 (10.25～27) 10時～16時</p> <p>●旧日立航空機株式会社変電所一般公開 (毎月第2日曜日) 13時～16時</p> <p>●その他各種講座を随時開催</p> <p>【URL】 <a href="http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html">http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html</a></p>						

<b>17</b>	<b>東村山ふるさと歴史館</b>	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料	☎ 042-396-3800
<p>●「東村山」地名誕生130周年記念展「狭山茶どころ東村山」(10.5～12.1) 東村山という地名が誕生した130年ほど前、狭山茶の産地だった東村山では、各地の品評会へ出品したり、自家用の手もみ茶が作られていました。当時使われていた道具や文書資料を展示します。付随事業：展示のみどころ講座「狭山茶どころ東村山」(11.16)、「展示説明会」(10.26、11.9、11.16)</p> <p>●社会科見学対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」(1.9～3.13)</p> <p>●下宅部遺跡はっけんのもりへようこそ2019！ - 1日子ども縄文ムラ - (11.3)</p> <p>◆東村山ふるさと歴史館 【URL】 <a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/</a></p> <p>◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎ 042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】 <a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</a></p>						

<b>18</b>	<b>国立ハンセン病資料館</b>	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
<p>●2019年度秋季企画展『望郷の丘』—盲人会が遺した多磨全生園の歴史(9.28～12.27)「多磨盲人会」による証言集『望郷の丘』をもとに多磨全生園の歴史をふりかえります。付帯事業 元職員が語る多磨盲人会 (10.22) やってみよう、鈴ボール！ (11/2) フィールドワーク『望郷の丘』に描かれた多磨全生園を巡る (10.5、11.24、12.14) ギャラリートーク (9.28、10.27、11.16、12.22)</p> <p>●ギャラリー展「没後60年・志樹逸馬展」(11.9～12.1) 長島愛生園の詩人・志樹逸馬 (1917～1959) が遺した創作ノートをもとに、その作品世界に光を当てます。会期中、若松英輔氏による講演会「志樹逸馬の詩と出会う」を開催 (11.17)</p> <p>●多磨全生園創立110年記念事業 第1回親子で学ぶ多磨全生園「親子で探そう！全生園の生きものしらべ」(10.19)</p> <p>●ミュージアムトーク (学芸員によるお話 10.12、11.9、12.21、2020.1.18、2.19、3.28) いずれも詳細は当館 Web サイト参照。</p> <p>【URL】 <a href="http://www.hansen-dis.jp/">http://www.hansen-dis.jp/</a></p>						

<b>19</b>	<b>くにたち郷土文化館</b>	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日（祝日の場合は翌日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-576-0211
<p>●秋季企画展「カメラが写した国立 本田家資料と市役所広報移管写真を中心に」(10.19～12.1) 明治・大正・昭和・平成、そして令和へ。時代が移りゆく中、国立のまちは大きく姿を変え、人々の暮らしの様相も変化していきました。本展では、国立の名家である本田家の写真資料と市役所広報が記録した写真を中心に、国立の移り変わりを展示します。カメラが切り取った時代の一片からどのようなことが分かるのでしょうか？</p> <p>●民具案内関連企画展「むかしのくらし展」(1.14～3.6) 市内小学校3年生の社会科見学に関連し、当館が所蔵する「むかしのくらし」に関する資料を紹介します。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.kuzaidan.or.jp/province/">https://www.kuzaidan.or.jp/province/</a></p>						

<b>20</b>	<b>たましん歴史・美術館</b>	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始	入館料	100円※中学生以下無料	☎ 042-574-1360
<p>●東洋古磁器展～古陶器鑑賞便覧 やきもののいろは～ (10.1～12.8) 関連行事：ギャラリートーク (11.15) 14:00～</p> <p>●たましんコレクション展～線からはじまる。(2020.1.7～6.28)</p> <p>【URL】 <a href="http://www.tamashin.or.jp/">http://www.tamashin.or.jp/</a></p>						

<b>21</b>	<b>パルテノン多摩歴史ミュージアム</b>	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休 (10.15-16、11.12-13、12.17-18、29-1.3、21-23、3.17-18) ※4.1より大規模改修のため休館となります。	入館料	無料	☎ 042-375-1414
<p>●企画コーナー展示「多摩ニュータウン トイレたんけん隊」(～11/11) 多摩ニュータウンの公園にある多種多様な公衆トイレ建築や、人と排泄物との関係性の変遷を紹介。 関連イベント (10.6、10.13、10.27) 詳細はHPをご確認ください。</p> <p>●企画コーナー展「市民が語る「地域の宝物」～未来への地域遺産～」(11.14～3.31) さまざまな市民が推薦する「未来に残したい地域の宝物」をご紹介します。</p> <p>●特別展「パルテノン多摩を振り返る（仮）」(2.28～3.16) 大規模改修を前にして、パルテノン多摩の開館時から現在までの記録を展示。市民協働による記録写真や開館時に描かれたキースヘリングと子どもたちの絵も展示予定です。</p> <p>●4階廻廊展示「ヨーロッパの街中のみどり～UR都市機構寄贈資料より～」(開催中～11.10)</p> <p>●みんなの植物観察会 (10.8、11.19、12.10、3.10) ●古文書講座中級コース (12.15、1.5、2.2・24、3.8・29)</p> <p>【URL】 <a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/">http://www.parthenon.or.jp/museum/</a> 【ツイッター】 <a href="http://twitter.com/par_tama_museum">http://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a></p>						